



R-CAP

学問研究、職業研究に「R-CAP」の冊子を活用

— 三好高校(愛知・県立) —

取材・文／永井ミカ



右から
進路指導主事
矢野健一先生
2学年主任
東園剣輔先生
2学年担任
巽 隆男先生

School Data

創立1975年／普通科・スポーツ科学科
生徒数936人(男子496人・女子440人)
進路状況(2013年度)／大学進学30%・短大進学11%
専各進学20%・就職34%・その他5%
愛知県みよし市三好町東山110-1
TEL 0561-34-4881
URL <http://www.miyoshi-h.aichi-c.ed.jp>

そこで、1年生の進路指導の職業研究、学問研究という流れを変え、学問研究を先に実施してみることにした。そう

「しかも、その職業や資格は比較的身近なものばかり。資格取得のために大学進学を考えている生徒も多い。それもいいですが、なかには学問から大学進学を目指したり、思い切り視野を広げて知らない世界を開拓する生徒が出てきていいのではと考えていました」。

「最近、学校選びが職業や資格と直結しすぎていくことに課題感をもっていた。」「しかも、その職業や資格は比較的身近なものばかり。資格取得のために大学進学を考えている生徒も多い。それもいいですが、なかには学問から大学進学を目指したり、思い切り視野を広げて知らない世界を開拓する生徒が出てきていいのではと考えていました」。

「一方で、進路指導主事の矢野健一先生は「最近、学校選びが職業や資格と直結しすぎていくことに課題感をもっていた。」「しかも、その職業や資格は比較的身近なものばかり。資格取得のために大学進学を考えている生徒も多い。それもいいですが、なかには学問から大学進学を目指したり、思い切り視野を広げて知らない世界を開拓する生徒が出てきていいのではと考えていました」。

「一方で、進路指導主事の矢野健一先生は「最近、学校選びが職業や資格と直結しすぎていくことに課題感をもっていた。」「しかも、その職業や資格は比較的身近なものばかり。資格取得のために大学進学を考えている生徒も多い。それもいいですが、なかには学問から大学進学を目指したり、思い切り視野を広げて知らない世界を開拓する生徒が出てきていいのではと考えていました」。

「一方で、進路指導主事の矢野健一先生は「最近、学校選びが職業や資格と直結しすぎていくことに課題感をもっていた。」「しかも、その職業や資格は比較的身近なものばかり。資格取得のために大学進学を考えている生徒も多い。それもいいですが、なかには学問から大学進学を目指したり、思い切り視野を広げて知らない世界を開拓する生徒が出てきていいのではと考えていました」。

「一方で、進路指導主事の矢野健一先生は「最近、学校選びが職業や資格と直結しすぎていくことに課題感をもっていた。」「しかも、その職業や資格は比較的身近なものばかり。資格取得のために大学進学を考えている生徒も多い。それもいいですが、なかには学問から大学進学を目指したり、思い切り視野を広げて知らない世界を開拓する生徒が出てきていいのではと考えていました」。

学問研究を先に実施し 大学進学の意味を問う

同校では総合的な学習の時間を使い、3年間を通してさまざまな体験学習を取り入れている。1年生では春に長野県での村民体験を実施。秋は大学や専門学校から講師を招いての模擬講義、冬は社会人講話。これらは、各学年が行う進路指導に加えて学校主導の体験学習として、毎年決まったスケジュールで実施されてきた。

実践したのは昨年度の1年生から。学年主任の東園剣輔先生は、各体験学習の事前学習として学問研究、職業研究に力を入れることにし、その資料として適性検査「R-CAP」を活用した。「R-CAP」は前年度も1年生の4月に実施しましたが、結果を生徒に戻して終わって

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

ダウンロード可

学問研究ワークシート

グループワーク用のワークシート。グループワークにすることで内容を共有し、より視野を広げることができる。

まず、秋の体験学習(模擬講義)の前に、興味をもったり適性があった学問を調べる。生徒は調べた結果を5〜6人のグループで持ち寄り、各グループがそこから選んだ2つの学問についてまとめる。これ

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

グループワーク用のワークシート。グループワークにすることで内容を共有し、より視野を広げることができる。



学問研究、職業研究の内容はそれぞれ冊子にまとめた。職業研究の冊子では、保護者や民間に勤めたことがある教員も、職業や仕事についての思いを寄稿。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。

「R-CAP」を受けてまずは自己理解。そして、学問研究→模擬講義→職業研究→社会人講話と1年生のいい流れができたと思います」と矢野先生。今後も、事前事後指導をていねいに行うことで行事をより効果的に実践していく考えだ。また、今年度の1年生では新聞を使い「知らないことを知る」学習をするなど、視野を広げ、生徒間で情報を共有する進路指導に、ますます力を入れている。